

## 令和2年度第12回教育研究評議会議事録

日時 令和3年3月17日(水) 14:30～17:10 TV会議  
場所 事務局5階大会議室、事務局別館1A会議室、S-P o r t 3階会議室  
出席者 石井、丹沢、木村、東郷、池田、大場、手島、寺村、小谷、河合、笹原、  
白井、日詰、田島、熊倉、近藤、小西、田中、北村、川田、喜多、森田、  
鳥山、江口昌、原、三村、朴、澤田の各評議員  
欠席者 江口尚委員  
陪席者 鈴木、河島の各監事、青木、藤井、宮原の各学長補佐  
堂園・人を対象とする研究倫理委員会委員長

### I 前回議事録の承認について

令和2年度第11回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 新法人設立・大学再編について

議長から、新法人設立・大学再編について、資料1-1により、合意書締結後の会議等の開催状況、資料1-2により、第27回静岡大学・浜松医科大学連携協議会(令和3年2月24日)等の報告があった。

<議長の主な説明>

- ・ 第27回連携協議会の報告は、企画戦略会議で行っているため、省略する。
- ・ 第2回浜松地区大学再編・地域未来創造会議(2月24日開催)では、再編の延期については残念であるが、国が進める大学改革に遅れないようにとの要請があった。
- ・ 第4回静岡大学将来構想協議会ワーキンググループが3月15日に開催された。
- ・ 次回の静岡大学・浜松医科大学連携協議は3月30日に行う予定である。

#### 2 大学院設置基準の一部改正等に伴う関連規則の一部改正について

丹沢委員及び日詰委員から、大学院設置基準の一部改正等に伴う関連規則の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 熊倉委員から、教職大学院は今年度改組したので、完成年度までは従前の規則で実施するとの発言があり、丹沢委員から、光医工学共同専攻も同様であり、了解しているとの回答があった。

#### 3 静岡大学アセスメント・ポリシーの制定・改正等について

丹沢委員から、静岡大学アセスメント・ポリシーの制定・改正等について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 4 静岡大学光医工学超領域分野フェロースhip規則等の制定について

木村委員及び原委員から、静岡大学光医工学超領域分野フェロースhip規則等の制定について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 5 静岡大学大学院工学研究科規則及び静岡大学大学院工学研究科教授会規則の廃止について

川田委員から、静岡大学大学院工学研究科規則及び静岡大学大学院工学研究科教授会規則の廃止について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 6 静岡大学における人を対象とする研究に関する規則の一部改正について

堂園・人を対象とする研究倫理委員会委員長から、静岡大学における人を対象とする研究に関する規則の一部改正について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 小谷委員から、「委託元研究機関の研究責任者」の定義についての質問があり、堂園教授から、研究責任者は相手組織の研究責任者だが、相手機関と共同研究でかつ相手側が主であるときも、こちらで一括審査することを排除するものではないとの回答があった。

## 7 国立大学法人静岡大学授業料等料金体系規則の一部改正について

丹沢委員から、国立大学法人静岡大学授業料等料金体系規則の一部改正について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、受講料以外の名目で必要経費を徴収する枠組みはあるのかとの質問があり、丹沢委員から、規則上は想定していないので、募集要項等に必要経費を別途いただくことがありますと記すことで対応いただきたいとの回答があった。また、手島委員から、規則第16条の2のただし書き「これにより難いときは、開設部局の長は、当該履修証明プログラムの目的、内容その他の事情を総合的に勘案して受講料を算定するものとし、学長と協議の上、承認を得るものとする」よう、適正な手続きをとるよう要請があった。

## 8 静岡大学私費外国人留学生学士課程成績優秀者に対する授業料免除の特例に関する要項の制定について

白井委員から、静岡大学私費外国人留学生学士課程成績優秀者に対する授業料免除の特例に関する要項の制定について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 9 静岡大学授業料等免除及び徴収猶予の取扱いに関する規則の一部改正について

寺村委員から、静岡大学授業料等免除及び徴収猶予の取扱いに関する規則の一部改正について、資料9により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 10 理事の職務変更に伴う関係規則等の一部改正について

手島委員から、理事の職務変更に伴う関係規則等の一部改正について、資料10により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 小谷委員からリスク管理担当の理事と同担当の副学長の役割分担について質問があり、日詰委員から、リスク管理担当の理事は非常勤（週3日勤務）であるため、ハラスメント等の案件が出た場合に迅速に対応することが難しいので、リスク管理担当の副学長が対応することとし、リスク管理担当の理事には大学全体や個別案件に関するアドバイスをいただくとの回答があった。また、議長から、運用上、担当事務が役割分担について迷うケースが出てくることもあるので、新執行部で明確に調整いただきたいとの発言があり、日詰委員から調整したいとの回答があった。
- ・ 寺村委員から、リスク管理担当理事をハラスメント防止対策委員会の構成員とすることが望ましいとの意見があり、日詰委員から配慮したいとの回答があった。

#### 1 1 寄附講座の開設期間の延長について

川田委員から、寄附講座の開設期間の延長について、資料11により提案があり、審議の結果、これを承認した。

#### 1 2 静岡県立大学との単位互換に関する協定書等の再締結について

丹沢委員から、静岡県立大学との単位互換に関する協定書等の再締結について、資料12により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 1 3 静岡産業大学との単位互換に関する協定書等の再締結について

丹沢委員から、静岡産業大学との単位互換に関する協定書等の再締結について、資料13により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 1 4 東京都立大学大学院理学研究科と静岡大学大学院総合科学技術研究科との間における特別研究学生交流協定書の締結について

田中委員から、東京都立大学大学院理学研究科と静岡大学大学院総合科学技術研究科との間における特別研究学生交流協定書の締結について、資料14により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 1 5 令和3年度年度計画等について

東郷委員から、令和3年度の年度計画等について、資料15により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 1 6 女性活躍推進法に基づく次期行動計画の策定について

笹原委員から、女性活躍推進法に基づく次期行動計画の策定について、資料16により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 1 7 処遇（昇給・勤勉手当・業績給）の決定に係る取扱いの整備について

東郷委員から、処遇（昇給・勤勉手当・業績給）の決定に係る取扱いの整備について、資料17により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 議長から、経営協議会の外部委員から、懲戒処分を受けたものを自動的に低い評価にすることは二重処罰にあたるのではないかとの指摘があり、本取扱いを整備したとの補

足説明があった。

- ・ 笹原委員から、今回の取扱いの整備で二重処罰に該当しないことになったのかとの質問があり、東郷委員から、基準としては、例えば懲戒処分を受けた場合、処分の量定によってEあるいはDの評価となるが、人事評価により、総合的に判断し、別の評価にすることができるとの回答があった。また、手島委員から、懲戒処分の量定で処遇への反映が一律に決定されており、一事不再理に抵触するのではないかとの懸念が出されたので、機械的でなく裁量を持って行うことを明確化したとの説明があった。
- ・ 近藤委員から、特定教職員・一般教職員に該当する教員は、それぞれ教授と教授以外の教員かとの質問があり、東郷委員からその通りであるとの回答があった。また、近藤委員から、一般教職員（第2階層）について質問があり、東郷委員から取扱いについては従前と基本的に変わらないとの回答があった。

## 18 国立大学法人静岡大学経営協議会学外委員について

議長から、国立大学法人静岡大学経営協議会学外委員1名の辞任に伴う、後任の学外委員候補者について、資料18により提示があり、意見を聴取したが、特段の意見はなかった。

<委員から出された意見等>

- ・ 小谷委員から前任者の辞任の手続きについて質問があり、議長から、先方より社長交代に伴う本委員の退任の意向があり、受け入れたとの発言があった。また、総務部長から、大須賀氏への委嘱依頼文の中に社長交代に伴う後任との記載を明記しているとの説明があった。

## 19 静岡大学名誉教授の称号授与について

議長（丹沢委員）から、令和2年度末で退職する学長、理事1名、領域が推薦した教授12名への静岡大学名誉教授の称号授与について、資料19及び別添資料により提案があり、審議の結果、これを承認した。

## 20 教員の懲戒について

議長から、教員の懲戒処分案について、席上配付資料により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## III 報告事項

### 1 令和2年度第12回企画戦略会議（令和3年3月3日）報告

議長から、令和2年度第12回企画戦略会議（令和3年3月3日）について、資料20により報告があった。

### 2 次期役員等候補者について

日詰委員から、令和3年4月1日付で発令予定の理事、副学長、学長補佐及び学長特別補佐、事務局長候補者について、資料21により報告があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 川田委員から、①浜松キャンパスと静岡キャンパスや学部間の役員等のバランスをうまく取っていただきたいことと、②浜松キャンパス側の自由な活動を制限することのないようにしていただきたいことと、③新執行部には情報開示について留意いただきたい

との意見があった。日詰委員から、①について、これから静岡・浜松両キャンパスで一体化して、諸課題に対応していく観点で、適材適所の形で選出したこと、任期中に執行部のバランスに関する課題が出た場合には、適宜対応していくので、今のところのご理解いただきたい。②について、そのようなことのないように自覚をもってあたる、③について、すぐに開示できない情報については、一定の理由を付して開示することになるが、基本的には情報開示は速やかにあまり多くの制限を設けずに行いたいとの回答があった。

### 3 教員採用等報告について

議長から、教員の採用3件、昇任16件について、資料22により報告があった。

### 4 半期15週16回授業の実施方針について

丹沢委員から、半期15週16回授業の実施方針について、資料23により報告があった。

＜委員から出された意見等＞

- ・ 寺村委員から、文部科学省からの対面授業の実施の要請を踏まえていただきたいとの要請があった。
- ・ 東郷委員から、対面授業の実施の議論は、補助教材としてのオンライン教材の利活用促進と切り離して行っていただきたいとの要請があった。
- ・ 近藤委員から、権利処理が不要な場合であっても、公衆送信（オンデマンド授業等）の場合は著作物利用の登録が必要であることについて、構成員に十分に周知いただきたいとの要請があり、丹沢委員から、周知方法について検討するとの回答があった。

### 5 第24回環境コミュニケーション大賞における受賞について

丹沢委員から、第24回環境コミュニケーション大賞における受賞について、資料24により報告があった。

### 6 令和元年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置事項について

東郷委員から、令和元年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置事項について、資料25により報告があった。

### 7 THE世界大学ランキング世界版2022データ提出について

東郷委員から、THE世界大学ランキング世界版2022データ提出について、資料26により報告があった。

### 8 その他

議長から、緊急に審議すべき事項があるため、3月25日（木）に臨時教育研究評議会を開催するとの発言があった。

以上